

福島大学総合教育研究センター 学術講演会

「被災地の子どもたちと出会って」

山中康裕先生

(京都大学名誉教授・ヘルメス研究所所長・浜松大学大学院教授)

震災から間もなく1年がたとうとしています。この1年、子どもたちの、そして人々の心のケアの必要性が叫ばれ、またその実際が行われてきました。原発事故の収束が見えない現在、長く続くと思われる復興への道筋において、どのような支援を行い、またどう互いに支え合っていたらよいのでしょうか。

長く心理臨床に関わり、多くの心理臨床家を育ててきた山中康裕先生を講師にお迎えして、私たちの今とこれからを考えたいと思います。

記

日 時：2012年3月10日(土) 午後2時～3時

場 所：福島大学総合教育研究センター 特別教室

対 象：一般

参加費：無料

問い合わせは 024-548-8111 (青木真理研究室) もしくは

024-548-8110 (総合教育研究センター事務室) まで。

山中康裕（やまなか・やすひろ）先生のご紹介

医学博士。精神科医，臨床心理士。京都大学大学院教育学研究科において，数多くの心理臨床家を育てる。著書『少年期の心―精神療法を通して見た影』（中公新書），『絵本と童話のユング心理学』『老いの魂学（ソウロギイ）』（いずれも，ちくま学芸文庫），『子どものシグナル』（Basilico），『心理臨床学のコア』（京大出版会），『コッホの「バウムテスト（第3版）」を読む』（創元社），『山中康裕著作集（全6巻）』（岩崎学術出版社），『深奥なる心理臨床のために』（遠見書房）ほか多数。